

【応募様式】

法人名	社会福祉法人 宏量福祉会
施設・事業所名	野菊荘
取組名称	こもれび (ひとり親家庭のサポート)
取組の目的や背景・内容など	
<p>野菊荘では、サポートを必要とされる子育て家庭やひとり親家庭を対象に相談支援を行う、「こもれび」という窓口を設けています。</p> <p>育児や経済的なこと、ひとり親で生活に困難を抱える子育て家庭(妊娠期から成人するまでの子どもとその世帯)に、柔軟でゆるやかにつながることを大切に、保護者との相談や、食材提供だけでなく、小学生高学年の学童保育・学習会、中高生の学習会・ワライバ(居場所づくり)・タノシメシ(食事会)を案内し切れ目のない支援の提供を目指しています。</p> <p>ひとり親家庭で放課後自宅に一人で、または子どもだけで過ごすことが多い子どもたちにとって、安心して利用してもらえる取り組みです。</p> <p>子どもの支援について、児童支援員の専門的な関わりをもとに、柔軟でゆるやかにつながることで、それぞれの世帯の状態や子どもに寄り添った丁寧な関係作りを大切にしていますので、継続的に利用してくれる方が増えています。</p>	
取組を行って良かった点など	
<p>2019年12月現在、約50世帯の地域のひとり親家庭等が登録され、それぞれの家庭ごとに希望される取り組みを利用させていただいています。相談に向けての思いや決断に至るまでの整理、家計のやりくり、制度や施策等の情報提供について、ありがたいという声を聴き、生活支援を行っている施設の強みを活かしていると感じます。</p> <p>地域の子が気軽に来所してくれるようになり、施設への印象が少しずつ地域に開かれた状況になり、ますます来所してもらいやすくなっています。</p> <p>高校進学を嫌がっていた子は、学習会で学習し、大学生と具体的に高校生活の話をする中で進学を決意できたり、不登校気味だった子が、学習会や学童保育を楽しみにしており、積極的に参加していることが嬉しいというお母さんの声も聞かれ、取り組みの成果を感じています。</p> <p>今後もより多くの方々に活用していただき、長い子育ての期間を並走し、応援したいと思います。</p>	

【参考写真】

タノシメシ（中高生食事会）の様子



学習会の様子



ワライバ（中高生居場所）
ホワイトデー作品



相談の様子

